

伊東市民病院で ございます。

Vol.19



Doctor's Essay
Vol.1 宇津木 忠仁



新型コロナワクチン集団接種
を実施しました



新しいCT装置を導入しました
奨学金制度、あります。

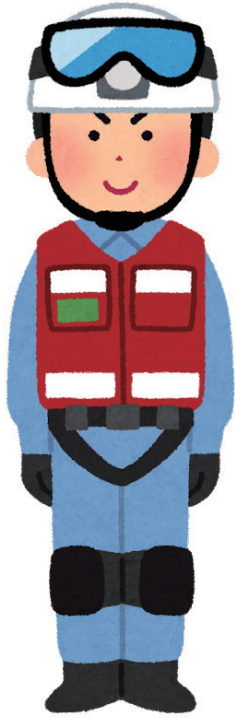


病院理念：市民の生命と健康と生活を守り地域発展に寄与します

熱海市伊豆山土砂災害におけるDMATの活動

令和3年7月3日(土)、その日も雨が降り続いていました。ラインの着信音が鳴り、「網代で土砂崩れです」という通知が届きました。『ああ、135号線が通行止めになるかな』と思いました。しかし、その1時間後にネットニュースで家や車が土石流で押し流される伊豆山の映像を見たこと、国際医療福祉大学熱海病院DMAT隊長から病院災害対策本部を設立し災害対応モードに入ると連絡あったことで、状況が甚大であることを知りました。私は、ただちに当病院DMAT隊員(医師、看護師、業務調整員で構成される、災害時に活動する医療チーム)に出動待機するよう一斉連絡しました。ほどなく県庁DMAT調整本部から正式に「待機要請」を受けました。

待機すること二日が経過し、7月5日(月)午前11時、「1時間後に熱海保健所へ参集してください」と連絡を受け当病院DMAT隊はただちに出勤しました。1時間後熱海保健所内のDMAT活動拠点本部に到着し、「避難所ホテル内の避難者の状況を調査する」任務を受け避難所ホテルに向かいました。避難者のなかに、補聴器がなくなり館内放送を聞き取れない方、杖や歩行器が流されて部屋から出られない方がいることがわかり、静岡県保健師、熱海市保健師とチームをつくりこの方々の対応に当たる計画をたてました。



熱海保健所内で県庁本部とWeb会議を行っている場面

7月7日(水)、2回目の出動、この日は災害救助現場で救出の確認と炎天下で腰まで土砂に埋もれながら活動する救助隊員(他県からの警察、消防・救急と自衛隊)の健康管理アドバイザーが任務でした。その後3回の出動があり、隊員はそれぞれ熱海保健所と避難所ホテルに分散し活動を展開しました。このころには熱海市医師会、熱海保健所、熱海市役所を中心にさまざまな職種の手援部隊が活動を展開するようになりDMATは徐々に業務を引き継ぎ、7月20日(火)DMATは熱海保健所から撤収しました。

今日でも続いている被災者のみなさまのご不便とご心労をこのころからお見舞い申し上げます。

新型コロナワクチン集団接種を実施しました

当病院では、6月と7月の土日に、伊東市主導のもと、2階のホスピタルモールにて高齢者への新型コロナワクチン集団接種を実施しました。

正面玄関を入ってすぐに受付となり、整列エリアを経て順に待合通路で問診票の事前チェックをし、診察室で医師の問診を受けたら向かいの診察室へ移動してワクチンの接種、通路に戻って「接種完了」の事務手続きを終え、待合用の長椅子で15〜30分の経過観察をして帰宅、という流れで進めました。

集団接種日前日の通常診療終了後に、会場の設営を含め、各部門の担当職員同士で綿密な打ち合わせと確認が行われ、当日も休日出勤で対応しました。

その甲斐あってか、接種に来られた方から、「(受付から)終わりまで早かったよ、すぐ終わってよかった」などの言葉も聞かれました。

職員一丸となって取り組んだ今回の新型コロナワクチン高齢者集団接種は、6月12日・13日・19日20日の第1回目接種と、7月3日・4日・10日11日の第2回目接種の計8日間で、延べ6300人超のワクチン接種を終えました。

加えて当病院では、6月と7月の平日水曜日・木曜日にも病院1階の講堂を使用した集団接種も行っており、延べ1080人の接種を実施し、合計で7380人以上の高齢者へのワクチン接種を行いました。

今後も伊東市の新型コロナワクチン集団接種に協力してまいります。



CT装置を更新しました

このたび伊東市民病院ではCT装置2台のうち1台を更新しました。

新しく導入したCT装置はSIEEMENS社製SOMATOM Go. Topです。

今回導入したCT装置は更新前の装置よりも大きく被ばくを減らすことが可能となり、搭載された最新技術を用いることで、撮影部位によってはさらに30%程度被ばくを減らすことも可能となりました。健診胸部CT検査につきましても、精密検査で必要とされる放射線量の10%程度で撮影をすることが可能です。患者様一人ひとりの体格や検査内容に合わせて適切な撮影線量を設定し、被ばく低減しつつ良質な画像が提供できるようになりました。

また、造影剤を使用した検査につきましては、以前よりも造影剤の使用量を30%程度少ない量で検査が可能となりました。更新前の装置よりも柔軟な調整が可能となり、造影剤使用量を低減できることで体に負担の少ない検査が可能です。特に高齢の患者様や腎機能が低下した患者様に対しても有用です。

装置導入に伴い、患者様が安心して検査を受けていただけるよう、今後もよりよい医療画像の提供に努めてまいります。



奨学金制度、あります。

伊東市民病院では、看護学校に在学する学生への学費面でのサポートとして、奨学金制度を設けています。

この制度を利用することにより、学生生活での経済的な不安を解消し有意義で充実した生活を送っていただくことを目的としています。

■**応募資格**：看護学校に在学中または入学試験合格(入学確定)者で、卒業と同時に当病院に職員として従事する意思のある方となります。
入学する学校が決まっていれば、入学前の応募も可能です。学校の指定はありません。

■**貸与金額**：月額7万円です。入学したときから、在学する最短修業年限の終期までとなります。ただし、年度途中で貸与を希望する場合は、その年度の4月から貸与開始となります。

■**奨学金の返済**：原則、貸付金を返還する事由が生じた日の属する月の翌月から1か月以内に、返還すべき額の金額を返還いたします。

■**返還の免除**：看護学校卒業後、直ちに当病院の職員となり、奨学金の貸与を受けた期間の1.5倍の日数を勤務した場合は、貸与額の全額が返還免除となります。(給与面は他職員と同じ条件での勤務です)

■**応募方法**：お電話にて連絡のうえ、応募書類をご送付ください。

■**応募書類**：履歴書(写真添付)・貸与願い・在学証明書

■**送付先**：〒414-0055静岡県伊東市岡196-1

伊東市民病院 総務課

■**選考方法**：面接選考(本人・保護者)にて決定いたします。

募集は随時行っておりますので、お気軽にご連絡ください。

問い合わせ先：総務課 ☎0557-37-2626

